

第1回高知県行政改革フォローアップ委員会

日 時：平成23年2月4日（金）14:30～17:00

場 所：高知共済会館

出席者：高知県行政改革フォローアップ委員会

根小田会長、岡林委員、高村委員、遠山委員、那須委員、西森委員、水田委員
高知県

恩田総務部長、田村総務部副部長、田所行政管理課長

○ 会議次第

- 1 委員への委嘱状交付
- 2 総務部長のあいさつ
- 3 委員会設置要綱の説明
- 4 会長の選任
- 5 議事
 - (1) 県政改革アクションプランの取組状況について
 - (2) 行政委員会の委員報酬の見直しについて
- 6 その他
 - ・ 第2回委員会について

● 県政改革アクションプランの各取組について

<主な質疑>

- (問) 補助金等の交付決定について、決定までの途中段階の内容を公表するのではなく、決定された内容及び執行する内容を公表することにより、問題があったら県民の目に止まって抑止力が働くため、決定までのプロセスの公表に代わる機能が確保されているということによろしいか。
- (答) そのようにご理解いただければありがたい。
- (問) 県政アクションプランを、どのような形で職員に周知徹底されたのか。また、年度の取組を総括する際の話し合いとは、どのようなものを指すのか。
- (答) 取り組みを始めるにあたっては、何段階にも応じて通知などにより周知した。話し合いの方法については、具体は所属に任せているが、所属で2～3グループに分けて会議をするなどによって話し合いをしていただいている。
- (問) 不当な圧力や介入について、具体的にどのような事例があるのか。
- (答) 具体を持ち合わせてないので、後日の会で報告する。

<主な意見>

- ・ 取り組みとしては、描いたイメージに近い形で行われているのではないかと。
- ・ 自己評価・自己点検なので、色々な部分でこれから進化させていけば良い。
- ・ できていない部分については、その理由まで調査、検証が必要と思うし、これからどういう対策が必要なのかなども必要かと思う。
- ・ 取組状況の実態把握、取りまとめの仕方、工夫は必要だと思う。

●行政委員会の委員報酬の見直しについて

<主な意見>

- ・ 月額・日額の決定方法については賛成。
- ・ 職責が非常に重い委員会については月額でいいと思うが、非常に重たい問題を抱えている委員会が、少ない活動日数で済んでいるのは、委員会のあり方そのものが問題ではないか。
- ・ 行革の視点であれば、月額支給している金額の水準がどうであるかを議論した後、月額であるべきか日額であるべきかを判断するなら理解できるが、報酬額が高いというイメージが世論的に定着しているということが先にあって見直しを検討したのではないか。
- ・ 高齢化等により人口が少なくなっている自治体において、日額という考え方が出てくるのは自然な成り行きだと思う。